

刊行に寄せて

本ハンドブックは、文部科学省「教員研修の高度化に資するモデル開発事業」の委託（受託者：聖心女子大学）を受け、「学習科学に基づく授業研究モデル開発」をテーマとする事業の成果として刊行するものです。

教員研修の高度化には、授業研究の高度化が欠かせません。その一方で、教員の多忙化や孤立、ベテラン教員の大量退職により質の高い授業研究の実施自体が難しくなっており、それが若手教員の現場での成長も困難にしているという実態もあります。

この課題に対して、私たちは、「人はいかに学ぶか」に関する実証的学問である『学習科学』（令和4年12月19日 中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会答申）に基づき、多様な教員が協働して、学習指導要領の求める「主体的・対話的で深い学び」を引き起こす授業をデザイン・実践し、児童生徒の学習過程を評価する（見とる）という『PDCA サイクル』（令和3年1月26日 中央教育審議会「令和の日本型学校教育」答申）の充実のために、学習科学に基づくアクションリサーチと、授業研究で重視されてきた「現場の経験」のケーススタディの融合を図る授業研究モデルの開発を行っています。

アクションリサーチの基盤となる教授・学習理論とそれに基づく授業方法（ペダゴジー）、理論と授業法を核に授業研究を実践するコミュニティ、コミュニティを基盤に授業研究を充実するための1人1台端末も駆使したテクノロジーを一体化した授業研究モデルが開発・普及できれば、先生方はそれぞれの学校に属しながら学校や自治体を越えたコミュニティでペダゴジーを学びつつ、その学びを自校の授業研究と結び付けることで深め、校内の授業研究コミュニティの成長につなげることができるはずです。さらにこの授業研究サイクルをテクノロジーで支援しつつ、記録し、学びのリソースとすることができれば、初任者やペーパーティーチャー、教職課程の大学生などの新規参加者が授業研究を学ぶためのモデル開発にもつながるでしょう。

本事業でこうしたモデル開発の基盤としたのは、CoREF¹の研究チームが学習科学をベースに「主体的・対話的で深い学び」の一つである協調学習（一人ひとりの子どもが自分で考え、対話を通じて理解を深める学び）の実現を目指して、平成22年度より全国の

¹ CoREFはコレフと呼び、もともとは大学の専門知を小中高教育現場へと発信する大学間のコンソーシアム、すなわち、「大学発教育支援コンソーシアム」としてスタートした組織です。その推進機構が平成20年度に東京大学に総長直轄機構として置かれ、その組織を「東京大学 CoREF」と呼称しました（大学発教育支援コンソーシアム推進機構は平成29年3月に年限満了につき活動を終了）。その後東京大学高大接続研究開発センターを経て、令和3年4月から一般社団法人教育環境デザイン研究所にCoREFプロジェクト推進部門を設置し、協調学習の授業づくりプロジェクトのハブとして取組を発展させています。

詳細は、教育環境デザイン研究所 HP (<https://ni-coref.or.jp/aboutus>) を参照ください。

教育委員会等と連携して進めてきた協調学習の授業研究プロジェクトです。このプロジェクトでは、小中高の学校種・教科を超え、「知識構成型ジグソー法」という一つの授業手法を媒介にして、先生方が協働してデザイン・実践・見とりのサイクルを回すことを支える授業研究コミュニティを形成してきました。その中核となる「新しい学びプロジェクト」には、全国21都道府県から32の自治体・団体が参加し、1,200名を超える先生方が関わっています（令和6年1月現在）。

本ハンドブックは、子ども達一人ひとりが主体となって学びながら、他者との関わりを通じて自分の考えをよくしていくような学び（＝協調学習）の実現を支える授業研究について、この「知識構成型ジグソー法」の手法を用いた授業づくりの実践研究プロジェクトから見えてきたことを整理して、共有することを目的としたハンドブックです。

「新しい学びプロジェクト」では「知識構成型ジグソー法」という一つの手法を中核に据えた取組を行っていますが、このハンドブックでは、「知識構成型ジグソー法」に限らず先生方による子どもの学びの過程のデザインと見とり、それに基づくデザインの見直しの過程（＝授業研究）に焦点をあて、それぞれの自治や学校の中でどのように授業研究を進めていけるとよいかを考える際の参考にしていただくために編集しました。多くの方に手に取っていただき、参照していただければ幸いです。

本ハンドブックの作成並びにその基本となった事業においては、「新しい学びプロジェクト研究協議会」参加団体、埼玉県、鳥根県、鳥取県をはじめとする連携の県教育委員会・センター等、学校の先生方に多大なご支援、ご協力を頂いております。この場を借りて感謝を表します。

教育環境デザイン研究所 主任研究員／聖心女子大学 客員准教授
共立女子大学 講師／教育環境デザイン研究所 研究員
国立教育政策研究所 総括研究官／教育環境デザイン研究所 理事
聖心女子大学 教授／教育環境デザイン研究所 理事

飯窪 真也
齊藤 萌木
白水 始
益川 弘如